

研究室構成 (2015年4月現在)

教職員: 綿貫啓一教授(戦略的研究部門),
 楓和憲助教, 小島一恭助教, 侯 磊助教
 田中英一郎准教授(戦略的研究部門), 村松慶一助教(戦略的研究部門)
 研究支援員・事務補佐員6名
 大学院生14名(博士3名, 修士11名), 学部生8名

主な研究テーマ

●バーチャルリアリティ技術を用いたものづくりの高度化に関する研究

マルチメディア技術による熟練技能伝承システム,
 バーチャルリアリティによる技能の内面化,
 力触覚呈示装置の開発

●ブレイン・マシン・インターフェイスに関する研究

近赤外光による非侵襲型脳機能計測とその工学的応用,
 脳科学研究の知見に基づいたインターフェイス・機器の開発

●安全・快適・エコな次世代自動車に関する研究

アンビエント・モビリティ・インターフェイスの開発,
 人に優しい次世代自動車の開発,
 人間の快適性を考慮した空調制御, 快適度センサの開発

●人に優しい福祉機器・ロボットに関する研究

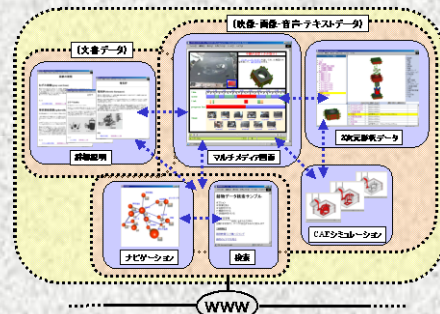
知的車椅子の開発, 歩行支援機器の開発,
 福祉ロボットの開発, 知的多足型ロボットの開発

●医療・バイオ用機器に関する研究

直感的な操作可能な遠隔操作型マニピュレータの開発,
 人に優しい医療・バイオ用機器の開発

●オントロジーを用いた知識共有に関する研究

心的状態とその表現に関する概念の記述,
 心理・生理・行動データの統合的記述
 人間行動モデルによる熟達者の技能・知識抽出



研究内容の一部は, NHK, NHK国際放送,
 朝日新聞, 読売新聞, 日刊工業新聞等で
 紹介されました。

